４歳児保育を実施して、より一層の幼稚園教育及び保育の充実を図ってまいります。

学校給食については、安全・安心な給食を提供し、健康づくりに努め、食育を推進してまいります。

文化センター・沖縄陸軍病院南風原壕群を、文化活動・平和学習・交流・観光の拠点として、充実強化を図り、観光関連事業と連携し事業を推進してまいります。

グランパス応援給食をグランパス栄養士河村さんや城間町長と楽しむ児童ら（南風原小2-1）

「青少年の国際交流」と「青年海外研修派遣事業」は、それぞれ中学生と青年をハワイへ派遣し、海外移住者子弟との交流を図ります。

第６回世界のウチナーンチュ大会が開催される機会に多くの海外の町人会、県人会のみなさんと交流を深めてまいります。

また、今年度も沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）を活用して、学校教育の充実、伝統文化の継承と発展さらに、名古屋グランパスのキャンプ誘致をはじめとするスポーツの振興にも取り組んでまいります。

平成27年度南風原町海外移住者子弟研修生（アルゼンチン・ペルー）

名古屋グランパス春季キャンプ（サッカー教室）

ちむくくるで つくる福祉と健康のまちについて

保育所入所に係る待機児童対策については、弾力化及び小規模保育や法人保育園の分園、増改築、新設法人保育園の基本設計と実施設計等に取り組み入所の受入可能人数の拡大を図ります。さらに法人等保育園職員への給与補助を増額することで、保育士確保と離職防止を図り、待機児童の解消に努めてまいります。

認可外保育園については、健康診断、給食費、損害賠償保険などの補助や町外の認可外保育園に通っている世帯への補助を継続して行い保育環境の向上を図ってまいります。町独自の認可外保育園環境整備事業を継続するとともに、町外の認可外保育園に通っている世帯への補助を行い保育環境の向上を図ってまいります。

こいのぼり掲揚式

子どもの貧困対策事業として、個別の世帯の状況を十分に把握して必要な支援に繋げていけるよう子ども元気支援員２名を配置します。さらに、安心して過ごせる子どもの居場所を中学校区に１ヶ所ずつ確保し、専門的なスタッフによる不登校や引きこもり、支援を必要とする児童・生徒の生活支援等に取り組んでまいります。また、新規事業として養育支援訪問事業を実施し、若年出産家庭等への訪問を行いながら養育環境等について確認し、必要な支援を実施することで養育環境の改善を図ってまいります。併せて、町社協と連携した子ども等の貧困対策支援事業を実施し、地域での取り組みも支援してまいります。子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指し、子どもの貧困の解消に向けた取り組みを推進してまいります。

消費税率の引き上げに際し、低所得者に対する適切な配慮を行うため、臨時福祉給付金として町民税が課税されていない給付対象者一人につき３千円を支給し、さらにその対象者の中で障害基礎年金を受給している方を対象に、一人につき３万円の給付金を支給します。また、平成27年度の臨時福祉給付金受給対象者のうち、平成28年度中に65歳以上になる方へ、一人につき３万円の給付金を支給します。

町民一人ひとりが、主体的に健康増進に取り組めるよう、妊婦から高齢者まで生涯にわたる健康づくりへの支援を推進してまいります。その取り組みの一つとして一括交付金を活用し、学童期における生活習慣病予防に取り組んでまいります。

町敬老会

高齢者福祉については、高齢者が住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせるよう介護予防・日常生活支援総合事業の推進と、介護が必要な状態になっても安心して相談し、必要なサービスが受けられるよう地域包括ケアシステムの構築に努めてまいります。

障がい者福祉については、特定健診の受診勧奨の強化による受診率向上及び特定保健指導の実施率向上に努めるとともに、国保データベースを活用して生活習慣病の発症予防や重症化予防に努めてまいります。また、後発医薬品の活用促進等で医療給付費の抑制を図るなど、財政の健全化に向けて取り組んでまいります。

工夫と連携で産業が躍動するまちについて

次に産業の振興についてであります。

まず、緊急経済対策の一環として、町民が自己の居住する住宅の修繕、補修、耐震補強の為の住宅改修・リフォーム助成制度の「南風原町緊急経済対策住宅リフォーム支援事業」を引き続き実施してまいります。

農業振興については、農地の有効活用を推進し、農地の保全や土壌改良・地力増強を促進するための土づくり奨励補助を継続します。拠点産地であるかぼちゃの増産支援のためのミツバチ巣箱設置や花粉交配用品種の導入、ビニールハウス、井戸設置の補助などの助成を実施すると共に生産施設の導入促進を図ることで、生産農家を支援し農業経